

子ども医療費支給事業における 税の完納要件および 申告要件の導入について



☎ 保険医療課 2174

令和2年4月1日から「小学生から高校生世代までのお子さんがある保護者（配偶者含む）」に、「税の完納要件および申告要件」を導入します。

※小学生以上が対象です。未就学児には適用しません。

※完納要件の対象となる税は、町県民税、固定資産税、軽自動車税および国民健康保険税です。

完納要件および申告要件について

税の納付状況および申告状況によって判断します。（令和2年度の例）

受給者証有効期間	受給要件	
	完納要件	申告要件
令和2年4月～令和3年3月	令和元年12月末日時点で、平成30年度までの税を完納していること	令和元年度（平成30年分の収入）の申告をしていること

支給の停止

完納要件：特別な理由がなく税の滞納がある場合、子ども医療費の支給を停止します。

申告要件：申告がない場合や勤務先から町へ給与支払報告書が提出されない場合、子ども医療費の支給を停止します。

※収入がない場合でも申告が必要となります。ただし、税法上の被扶養者の場合は、申告は必要ありません。（扶養者が伊奈町以外にお住まいの場合を除く）

支給停止の特例

税の滞納がある場合でも、次のいずれかに該当するときは、保険医療課へ申出をすることで、特例として支給が認められることがあります。

- ①完納した場合
- ②税の徴収猶予、換価猶予、執行停止を受けている場合
- ③滞納している保護者が、令和元年度の住民税が非課税である場合
- ④滞納している保護者が、疾病等による収入減少で生活が困難な場合
- ⑤災害により家財等に著しい損害を受けた場合
- ⑥その他町長が必要と認める場合

支給停止に関する手続き

支給停止の対象となる方には、1月中に通知を送付します。支給停止の特例に該当する方は、至急保険医療課で手続きを行ってください。



こうでん通信

でんきのちからで伊奈町からすべての人を幸せに 恒電社 かわら版



2020
第23回
January

恒電社長の未来と「くまのぼん」 2020年は『未来創造企業』への変革の年！



明けましておめでとうございます。今年は何回目の東京オリンピック！とても楽しみです。

さて前回の50年前に遡ると、物が無い時代、五輪景気で建設需要が高まったり、テレビが爆売れ…それから時代とともにクーラー、電球からLED、黒電話からスマホ…と便利なものがあふれ続けています。もうお腹いっぱいですよ。便利なものが当たり前だからこそ、その中から安全なもの、環境に良いものを選んで使っていき新しい価値観が大切になってきています。

電気や設備についても同じような価値観で選ぶべきだと考えます。

2020年の恒電社は「気候変動に対する問題解決」を最優先課題とした事業を推進します

恒電社は、電気工事屋としてスタートしました。数十年を経た今、未来創造企業へと変革の時を迎えています。「気候変動に対する問題解決」とは、平たく言うと「地球温暖化対策」。温暖化の根源であるCO₂を減らし低炭素社会を実現することを恒電社のミッションとしたのです。豊かな地球・豊かな未来を子孫たちに残していきたい、それが未来創造企業たるゆえんです。

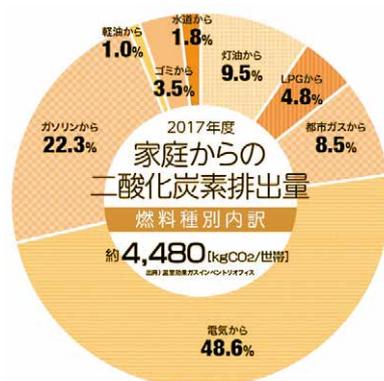
みなさん知っていましたか？

右の円グラフを見てください。これは「家庭からのCO₂排出量」の燃料別内訳です。なんと、電気使用と車の燃料（ガソリンと軽油）が全体の約71%、屋根に太陽光を付ける・電気自動車に

乗り換える、これを実行することで、CO₂を70%以上排出しない低炭素生活が実現できます。

恒電社は、低炭素社会を実現するために、ご家庭で低炭素生活ができる「電気工事」を提案し、ライフスタイルや家の構造に合った太陽光パネル・蓄電池・省エネ機器の施工のお手伝いをしています。

私たちの小さな『戦い』（価値観を変えていくこと）は、未来への大きな『挑戦』（未来創造）です。



家庭からの二酸化炭素排出量（世帯当たり、燃料種別）
出典）温室効果ガスインベントリオフィス



知ればエネルギーの未来が見えてくる!? 再エネ辞典

発送電分離【はつそうでんぶんり】



2020年4月から、電力自由化の最終段階「発送電分離」が実施されます。発電や小売ばかりでなく、電気を運ぶ送電事業も旧来の電力会社から分離されるのです。そもそも電力自由化は、電力産業の活性化のために、さまざまな企業が事業に参入できるチャンスを増やし、新しい製品やサービスが開発され業界自体の活性化を目指すものです。

しかし、今回の「発送電分離」は、直接的には消費者には影響は及ばないと言われていますが、4月以降の電力会社からの請求書の内訳

の中に宅送料（送配電設備の使用料）の項目が分離されて表示されることになるでしょう。

このような情報には賢く、そして環境にやさしい生活のヒントが隠されています。太陽光パネルを屋根に取り付け蓄電池に貯めて使う自家消費型の生活に切り替えると、電力会社からの請求書に含まれる「再エネ賦課金」「宅送料」などの費用が掛からなくなってきます。蓄電池も普及につれて徐々に値段が下がってきます。電気は自分で作って貯めて使うという時代がもうそこまで来ているのです。